



2020 年 1 月

- [Cisco Spaces の概要](#) (1 ページ)
- [新機能 : 2020 年 1 月](#) (2 ページ)
- [機能強化 : 2020 年 1 月](#) (3 ページ)
- [Cisco Spaces ランタイム](#) (4 ページ)
- [問題](#) (4 ページ)

Cisco Spaces の概要

Cisco Spaces は、既存の Wi-Fi インフラストラクチャを活用して実用的な情報を提供し、ビジネスの成果を促進するロケーションプラットフォームです。物理的なビジネス拠点で訪問者をつなぎ、連携できるようにするマルチチャネルエンゲージメントプラットフォームです。小売、製造、サービス業、医療、教育、金融など、さまざまな業種のビジネスを対象としています。Cisco Spaces は、施設内の資産を監視および管理するためのソリューションも提供します。Cisco Spaces は、これらの情報を実行に移すためのさまざまなツールキット、アプリ、および API を提供します。さらに、Cisco Spaces はパートナープログラムを通じて、さまざまな業界向けのさまざまなアプリを提供しています。

このリリースの主な機能は次のとおりです。

- Cisco Spaces コネクタでは Cisco 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラに対応するようになりました。
- Cisco Spaces ダッシュボードで、今後の Cisco Edge Device Manager アプリの設定を行うための新しいオプション [View Stream Auth Key] が追加されました。
- キャプティブポータルアプリで、キャプティブポータルの認証タイプとして [Access Code] が追加できるようになりました。
- キャプティブポータルアプリ上のデータキャプチャフォームに生年月日が追加できるようになりました。
- パートナーアプリでは、Cisco Meraki ネットワークの Firehose API のイベント [Device_Locate_Update] に新しいパラメータの [uncertainty] が追加されました。

- パートナーアプリでは、クライアント IP がネットワーク全体で一意的の場合に動作するように Device LookUp API が機能強化されました。
- サンプルレポートと新しいイベント期間オプションを表示するように Impact Analysis アプリを機能強化しました。
- キャプティブポータル（ランタイム）ではアクセスコード認証に対応するようになりました。

新機能：2020年1月

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに、次の新機能が追加されました。

Cisco Spaces コネクタに対する Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラのサポート

Cisco Spaces コネクタは、Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラをサポートするようになりました。Cisco Spaces ダッシュボードを使用して、Cisco Spaces コネクタ用の Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラを設定できます。Cisco Spaces ダッシュボードで Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラを設定するには、**[Setup] > [Wireless Networks]**の下の **[Connect via Spaces Connector]** ウィジェットで、**[Add Controller]** ウィンドウの **[Controller Type]** ドロップダウンリストで新しいオプション **[Catalyst WLC]** を選択できるようになりました。

ストリーム認証キーを表示

Cisco Spaces ダッシュボードでは、新しいオプション **[View Stream Auth Key]** オプションを使用して、AP と Cisco Spaces 間の BLE および ZigBee データストリームを次のアプリ **[End Device Manager]** で使用できるようになりました。**[Connect via Spaces Connector]** ウィジェットで **[View Connectors]** をクリックすると、コネクタの右端のメニューに **[View Stream Auth Key]** が表示されます。**[End Device Manager]** は開発中であり、現在利用できないため、この機能へのアクセスは制限されています。

キャプティブポータル

キャプティブポータルアプリで **[Create New]** をクリックすると表示されるキャプティブポータルウィザードに次の変更が加えられました。

- **[Authentication]** ウィンドウの **[SELECT THE AUTHENTICATION TYPE]** ドロップダウンリストで、**[Access Code]** を使用したキャプティブポータルの認証をサポートする新しいオプションの **[Access Code]** が利用できるようになりました。アクセスコード認証は **[Inline authentication]** をサポートしており、ユーザーはメッセージの受信を選択できます。

- [Data Capture] ウィンドウの [Add Field Element] で、新しいオプション [Date of Birth] を使用して、[Data Capture] フォームに [Date of Birth] フィールドを含めることができるようになりました。[Date of Birth] フィールドを追加すると、[User Agreements] ウィンドウの [Enable Age Gating] エリアで [Moderate] オプションを選択できなくなります。

パートナーアプリ

- [FireHose API] : [DEVICE_LOCATION_UPDATE] イベントの場合、イベントの一部である [unc] 値をキャプチャするための新しいパラメータ [uncertainty] が追加されました。この拡張機能は Cisco Meraki 向けです。[unc] 値は、Meraki AP からのデバイスの距離を示します。この値は平方フィートに変換され、変換された値は [uncertainty] パラメータとして渡されます。また、[AP Topology] イベントが拡張され、AP のないフロアがエラーメッセージリストに表示されるようになりました。
- [Device Lookup API] : Device LookUp API が拡張され、clientIP がネットワーク全体で一意的場合に機能するようになりました。このような場合、顧客はリクエストで remoteIP を指定する必要も、メタデータでネットワークの remoteIP を設定する必要もありません。Device LookUP は、提供された {remoteIP + clientIP} に関連付けられたデバイスが見つからない場合にも、clientIP 固有の LookUp にフォールバックします。

機能強化：2020年1月

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに次の変更が加えられました。

影響分析

Impact Analysis アプリに次の変更が加えられました

- [Measure Impact] ウィンドウで、[Choose the event period that you like to measure] 領域から [Same Period Last Year] オプションが削除されました。また、[Daily Average during Past 365 days] オプションの名前を [Period DURING Event] に変更しました。
- エリアを測定するイベント期間を選択する場合、[Choose the event period that you like to measure] に新しいオプション [Period AFTER Event] が追加されました。このオプションを使用すると、イベント期間として日付範囲を指定できます。このオプションの場合、[Impact Analysis] レポートは、「日付範囲が指定される前の同じ期間のデータ」と「日付範囲が指定された後の同じ期間のデータ」を比較するグラフを表示します。たとえば、日付範囲を2020年1月1日から2020年1月10日（10日間）に指定する場合、[Impact Analysis] レポートには、2019年12月22日から2019年12月31日までの期間（10日）のデータと2020年1月10日から2020年1月19日までの期間（10日）のデータを含む棒グラフが表示されます。ロケーションの合計数もグラフの下部に表示されます。

- イベントがない場合、または特定の Cisco Spaces アカウントのデータがない場合は、サンプルレポートが表示されます。データが存在する場合は、[Create an Event] ボタンが表示されます。イベントに指定された日付範囲のデータがない場合は、「選択した期間のデータがありません」というメッセージが表示されます。将来の日付でイベントを作成すると、「このイベントはまだ完了していません」というメッセージが表示されます。
- 複数のイベントを一度に削除できるようになりました。複数のイベントを選択すると、ウィンドウの下部に [Delete] ボタンが表示されます。

Cisco Spaces ランタイム

Cisco Spaces ランタイムに次の変更が加えられました。

アクセスコードベースの認証サポート

電子メール、SMS、およびソーシャル認証に加えて、Cisco Spaces ランタイムは、アクセスコードを使用したキャプティブポータル認証をサポートするようになりました。キャプティブポータルがアクセスコード認証で設定されている場合、ユーザーはアクセスコードを入力するように UI でプロンプトされます。有効なアクセスコードを入力すると、ユーザーにインターネットが提供されます。

キャプティブポータルアプリのメニューにある [Access Code] を使用して、アクセスコードを生成し、ユーザーと共有できます。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの問題」と「未解決の問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

各問題について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各問題には、一意の識別子 (ID) が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、x は任意の文字 (a ~ z)、N は任意の数字 (0 ~ 9) です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Cisco Technical Assistance Center (TAC) エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の問題の ID が提供されます。
- 説明：問題が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

Cisco Bug Search Tool

シスコバグ検索ツール (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決の問題

表 1: 未解決の問題

問題識別子	問題の説明
CSCvq83680	RBAC : 特定のロケーションにアクセスできる管理ユーザーは、ダッシュボードにログインできない。
CSCvp57525	ロケーション分析 : 滞留時間の値が小さい場合、滞留時間内訳チャートで滞留時間範囲 % が重複している
CSCvs08343	ホットスポットで設定されたコネクタが削除されても、関連するホットスポットは削除されない。
CSCvs15189	SSOユーザー (A単独) : 重複した「キャプティブポータル」アプリがアプリのドロップダウンボタンに表示される。
CSCvs75816	Map : フロアを再度削除および追加すると、マップはロケーション階層にインポートされない。
CSCvs48740	Map Service : 他の顧客のマップサービスに反映された最後のログインアカウント mapservices データ。
CSCvs79627	Meraki カメラ : ユーザーは非カメラデバイスもインポートできる。
CSCvs76739	カメラ : Meraki カメラページで Meraki 認証情報を提供できない。
CSCvs90108	SSO が有効なドメインの電子メール ID を使用しているときに、ユーザーはパートナー ダッシュボードにログインできない。
CSCvs34730	SSO : SSOユーザーがパスワードをリセットしようとした場合、適切なエラーメッセージが表示されない。

解決済みの問題

表 2: 解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCvs34747	SSO : ダッシュボードアカウント選択ページにログインできない

問題識別子	問題の説明
CSCvs34610	SSO : SSO リリースの一環として、任意の電子メールアドレスの自動有効化が行われる
CSCvs15469	招待の再送信機能は、SSO ユーザーのライブから削除された。
CSCvs25540	Meraki カメラ : AP を含むカメラの詳細は、ロケーションの詳細ページに表示されない。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。